

愛知県の 防 災 の取り組みを紹介します。



県政お届け講座(無料)で 防災について学ぼう!

20人以上が参加する集会などの場に出向
き、愛知県職員が無料で、説明する「県政
お届け講座」を行っています。「南海トラフ
地震への備え ～備えあれば憂いなし～」
「個人や家庭でできる災害への備えにつ
いて」など、防災の講座も用意されてい
るので、ぜひ利用してみてください。



県政お届け講座
はこちら

一部、無料で耐震診断を実施中

旧基準で建てられた木造住宅(昭和56年5月末日までに着工)につ
いて、無料で耐震診断を行っています。耐震指標が1.0未満と診断さ
れた木造住宅について、市町村が実施主体となって最大100万円※
を補助しています。

※条件によって上乗せのある市町村もあります。



無料耐震診断
についてはこちら

中小・小規模事業者へBCPを普及

災害が発生した時の対応
を、事前に整理・準備して
おく、事業継続計画(BCP)
の策定を支援しています。
11/7(木)にBCP普及セミ
ナーを開催。



あいちBCPモデル
はこちら



専門家派遣
はこちら



パンフレット
はこちら

活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、みなさんの要望を伺っています。

9/7 幸田町総合防災訓練に参加

幸田町の総合防災訓練に参加しました。消防団
や町職員の皆さんだけでなく、多くの団体・町民
の皆さんの参加で、さまざまな事態を想定した、
まさに「総合」防災訓練でした。



9/14 都市計画道路柱町線が開通

都市計画道路柱町線が開通しま
した。羽根ガード渋滞対策として
岡崎駅南側でJR東海道線をアン
ダーパスで横断可能。藤田医科
大学岡崎医療センターへのアク
セスにも寄与します。



9/27 最低賃金PRの街頭活動を実施

東岡崎駅にて、10月1日から「50円的大幅引き上げ」
がなされた愛知県の最低賃金PRの街頭活動を、連
合愛知三河中地協と岡崎市議の仲間の皆さんと実
施。中小零細企業経営者の皆さんが賃金を上げやす
くなる政策を提案しなければいけないと思います。



7/4 JP-MIRAIの 総会・報告会に参加

東京で、責任ある外国人労働者受入れ
プラットフォーム「JP-MIRAI」の総会・報
告会に参加。外国人労働者にいかにし
て日本を選んでもらうか、さまざまな立
場での報告を聞きました。日本の産業を引っ張る愛知県として、真
正面から取り組むべき課題です。



9/25 9月議会本会議が開始

初日はあいち民主県議団の日比幹事
長が登壇し、水素の社会実装や防災
ノウハウを持つ人材の育成等、県政
全般について代表質問をしました。



10/1 STATION Aiを訪問

10月31日にグランドオープンする
STATION Aiを訪問。愛知が誇るモノづく
り産業とのコラボ等、起業家の皆さんが
夢の実現に邁進されるにふさわしい
ベースキャンプが完成しました。



私の56歳になる
誕生日

ご意見などございましたら

下記までご連絡ください。

発行 山口たけし事務所

〒444-3176 岡崎市真伝吉祥1丁目15-20
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp



お近くにお越しの際は、
ぜひお立ち寄りください。



公式サイト



2024.10.30発行

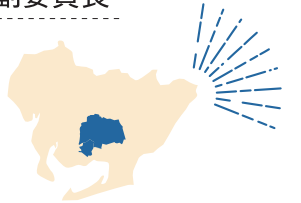
働く仲間のために!
政治を動かします!!

山口 たけし

愛知県議会議員(岡崎市・幸田町選出)

あいち民主県議団／経済労働委員会 副委員長

安全・安心対策特別委員会所属



『備えあれば、憂いなし』

9月4日と5日に、愛知県議会安全・安心対策特別委員会の県外調査で、本年
の元日に発生した能登半島地震の被災地である石川県輪島市と志賀町を訪
問しました。発災から8カ月が経過しているにも関わらず、被災直後の倒壊し
たままの7階建ての建物や歪んだ道路が少なからず見受けられました。復旧
の遅れを実感し、国の支援強化が不可欠と思いながら被災地を後にし、9月
議会に向けた諸準備をしていたところ、9月21日の豪雨災害が発生しまし
た。何度も心が折れる思いをされながら、それでも立ち上がり、懸命に前を向
いて歩いておられた被災地の皆さんの心境は、察するにあまりありません。
私たちの住む愛知県も南海トラフ地震への備えが必要な事は言うまでもあ
りませんが、いつ起こるか分からない脅威に備えるのは簡単ではありません。

今回のレポートは『備えあれば、憂いなし』の気持ちで作成しており、
皆さんの備える行動の一助になれば幸いです。

大地震が発生

そのときに向け、
万全の備えを!

令和6年1月1日に発生した能登半島地震。
愛知県からも多くの応援職員が派遣され
ているをご存じでしょうか。
8月1日までに、延べ **5,227人**の愛知県
及び県内市町村職員が派遣されました。
そのほか、救援物資の提供や被災者への
県営住宅等の提供、宿泊施設への受け入
れなど、愛知県ではさまざまな支援を行っ
ています。

愛知県から被災地へ派遣された
応援職員の一例

緊急消防援助隊
2,353人

愛知県警察
災害派遣隊
1,019人

災害派遣
医療チーム(DMAT)
429人

応急対策職員
(災害対策課)
104人

応急給水業務及び
応急復旧業務
70人

災害時健康
危機管理支援チーム
35人

南海トラフ地震も、
いつ起こるかわかりません。
大規模災害に向け
県でも対策を
進めています。

大規模災害への備え、県の災害対策を紹介します

南海トラフ地震などの
大規模災害の発生に備え、
愛知県ではさまざまな
防災、減災の取り組みを
行っています。

備えあれば
憂いなし

愛知県の災害対策

日頃から備えて
おきましょう

災害時に、全国からの救助人員や支援物資を受け入れる。



愛知県 基幹的広域防災拠点 整備

名古屋空港北西部
(豊山町青山地区)



大規模災害時、全国から救出救助人員や緊急支援物資等を円滑に受け入れ、県内全域の災害応急活動を後方支援する防災拠点を整備する。2026年末～2027年始めごろに完成予定。平常時は防災啓発、防災ビジネスの拠点として運営する計画。

津波などによる浸水時に、浸水区域に残された人々を迅速に救助する。

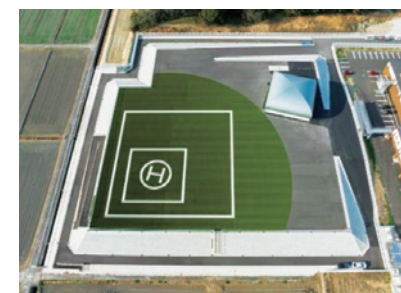


ゼロメートル地帯 広域防災拠点整備

西尾市や豊橋市など
県内4か所



南海トラフ地震等の発生時、浸水区域に残された人々を迅速に救助するための拠点。ヘリコプター離発着場や救出・救助ボートの船着場、活動資機材を収納し、救出・救助された人の一時的な待機スペースとなる防災倉庫を備える。



空撮写真



防災倉庫内部

愛知県は日本最大のゼロメートル地帯を有しています。こうした地域は、河川・海岸堤防が被災した場合、広範囲に浸水し、長期間湛水する恐れがあります。このため、河川・海岸堤防や排水機場の耐震化などの地震・津波・高潮対策を進めるとともに、ゼロメートル地帯に、救出・救助の活動拠点となる「広域的な防災活動拠点」の整備を行っています。



耐災害性が非常に高い、 次世代高度情報通信ネットワークの 整備も進んでいます！



災害時は、何よりも「命を守ること」が大切です。

そのためにも、災害に備えて「住宅の耐震化*」「家具等の固定」を行い、自宅や職場の危険性を「ハザードマップ」で確認しておきましょう。

※昭和56年5月以前に着工した木造住宅については、補助制度を利用できる場合があります。

県民のみなさんの命とくらしを守るため、
県としての取り組みもしっかりと進めてまいります。
ご意見・ご要望がありましたら、
山口たけしまでぜひお寄せください。

山口たけしより

国土交通省
ハザードマップ



巻頭に記載したように、能登半島地震の被災地である志賀町を訪問した際、愛知県から派遣した多くの応援職員に対する感謝の言葉を稲岡町長よりお伺いしました。と同時に「BCP*が全く役に立たず、対応が充分出来なかった」と、BCP策定の在り方についても反省を述べられていました。能登半島地震の被災地の教訓を、他の地域で活かすことが、自然災害の多い我が国にとっては不可欠です。

※BCP…災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画(Business Continuity Plan)のこと

